## 取扱説明書

# **Pakada Bed**

## A型オーバーヘッドフレーム TB-1478

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。 ここに示した事項は安全にお使いいただくことにより、事故を未然に防止するためのものです。

区分	危険や損害の大きさと切迫の度合い				
<b>企警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。				
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されます。				

<u>∧</u> 警告 本製品を設置する際には、必ず平らでしっかりした床の上に設置してください。傾いた場所や段差のある場所に設置しますと本製品が転倒する恐れがあります。

改造や分解修理は絶対にしないでください。事故・けがの原因となります。

本製品を設置する際には、必ず平らでしっかりした床の上に設置してください。傾いた場所や段差のある場所に設置しますと本製品が転倒する恐れがあります。

滑りやすい床面や濡れている床面では本製品が動く恐れがあります。

<u>∧</u> 警生 本製品を火気に近づけないでください。

湿気の多い所や、雨・風の当たる所に本製品を放置しないでください。

上部フレームにぶら下がらないでください。転倒や破損する恐れがあります。

切れかかったロープを使用しないでください。運動中にロープが切れて、けがをする恐れがあります。

改造や分解修理は絶対にしないでください。事故・けがの原因となります。

ゆるみ、がたつき、傾き、音等に常に注意して、点検を行ってください。また少しでも違和感を感じたときはご使用を中止してください。

本製品の用途以外には使わないでください。事故や故障の原因になります。

運動中は急に手を放さないようにしてください。ウエイトバッグが足の上に落下し、けがをする恐れがあります。

**公注音** 

運動中は、まわりの人の身体や手足、障害物が無いか十分注意してください。人身事故や物損事故の原因になります。

ご使用中に異常な揺れが発生したら、使用を中止し、各部の締め付けボルトの再点検を行ってください。又、改善されない場合は、ご購入代理店に ご相談ください。

通常、キャスターは常温、構内で使用される事を想定しております。高温、低温、多湿、酸、アルカリ、塩分、溶剤、油、海水、薬品等の影響を受ける特別な環境でのご使用は避けてください。製品の劣化が進む恐れがあります。やむをえず、ご使用になる場合は個々の用途に合わせた金具、車輪、グリスが必要です。尚、材質により床面に汚染の恐れがあります。

キャスターは消耗品のため、劣化、破損等の不具合が生じた場合は、ただちに交換してください。

アジャスターゴム、脚部キャップ及びキャスターの樹脂等によって、床材と床の表面処理材(ワックス等)が化学反応を起こし、変色する恐れがあります。設置場所等には十分ご注意くださいますようお願いいたします。

〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜 2 番地 27 TEL. 072-484-8800 代

URL http://www.takada-bed.co.jp/

お客様相談室: フリーダイヤル 0120-62-2382

# 部品一覧表

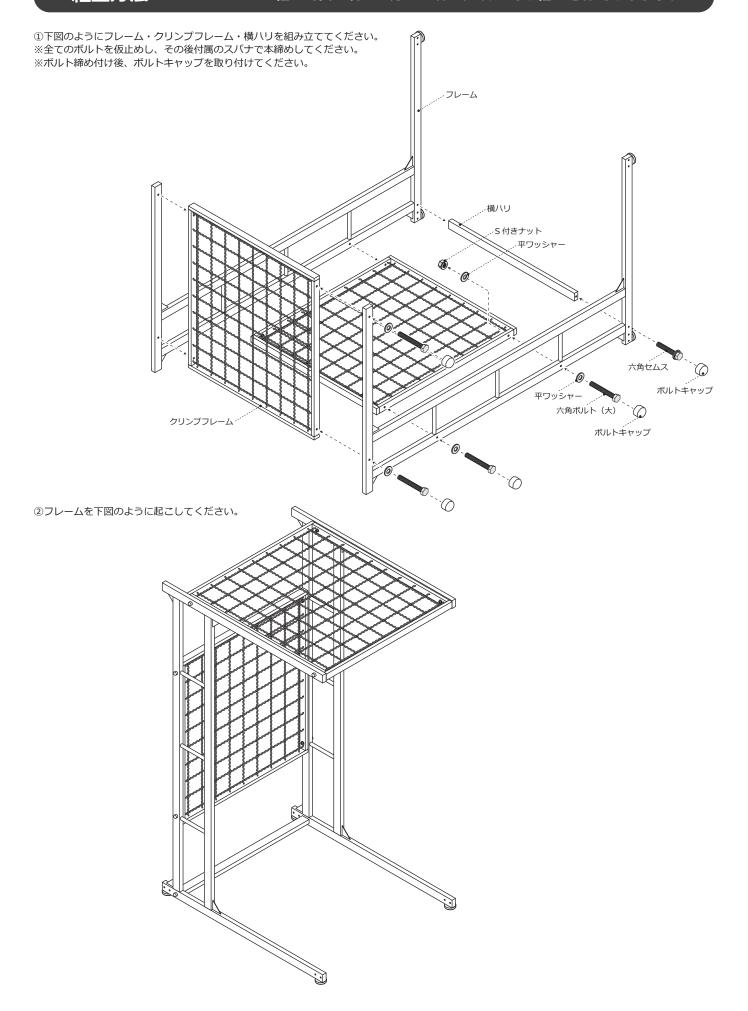
### ● 最初に下記の部品が揃っているかご確認ください。

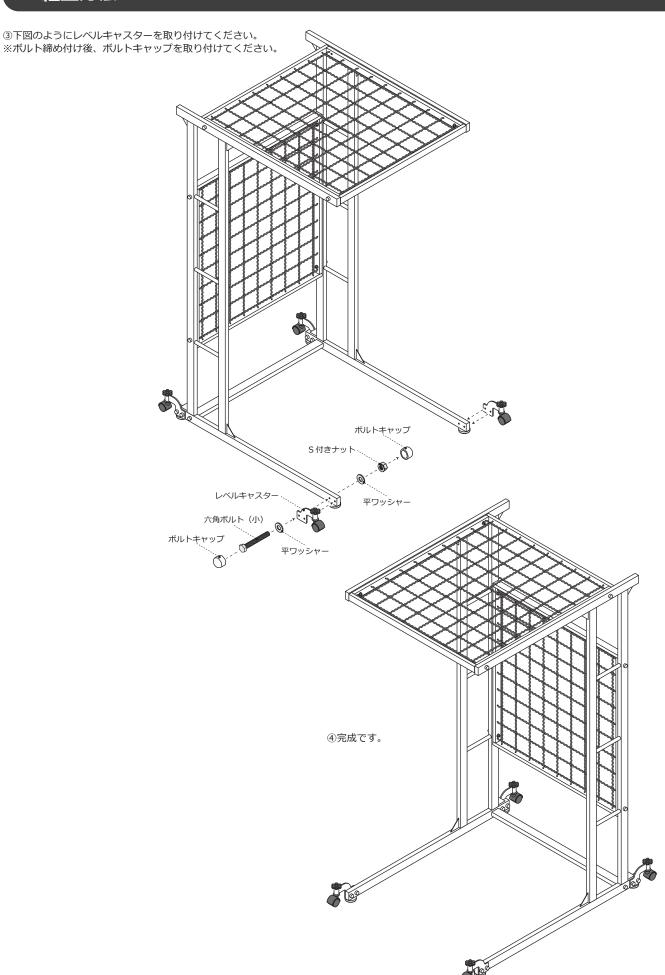
部品図	部品名	個数	部品図	部品名	個数
	フレーム	2		六角ボルト(大)	8
				六角ボルト(小)	8
	クリンプフレーム	2		六角セムス	2
			0	平ワッシャー	32
	横八リ	1		S 付きナット	16
				ボルトキャップ	26
	レベルキャスター	4		スパナ	2

## 付属品一覧表

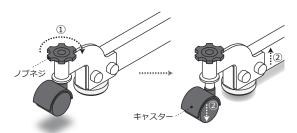
### ● 最初に下記の部品が揃っているかご確認ください。

部品図	部品名	個数	部品図	部品名	個数
	ロープ	1	4	握環	3
	四肢固定バンド	1	(i)	調節金具	1
				吊滑車	2
	吊帯	1		ネット滑車	1
	ウエイトバッグ	各 1		イット有単	1
$1 \text{kg} \cdot 2 \text{kg} \cdot 3 \text{kg} \cdot 4 \text{kg} \cdot 5 \text{kg}$				フック	1





## レベルキャスターの操作方法



①ノブネジ(4ヶ所)を時計回りに回します。

②キャスターが伸び、脚部が浮き上がりますので、製品が移動可能な状態になります。 ③移動後は、脚部アジャスターが床面にしっかりと設置するよう、ノブネジを反時計回 りに回してください。脚部が床面に設置しているのを確認後、製品をご使用ください。

## 四肢固定バンドの使用方法





握環が握れないような場合に、腕や脚部に巻いて使用してください。 締めすぎたり、緩めすぎた状態で使用すると、事故・けがの原因と なります。

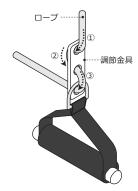
## 吊帯の使用方法





左図のように両端のリングの中にベルトを通してください。 ベルト部を輪にして、腕や脚部を入れてご使用ください。

### 調節金具の使用方法



#### ロープの縮め方

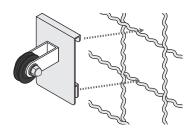
① $\rightarrow$ ② $\rightarrow$ ③の順番でロープを調節金具に通し、ロープを縮めてください。

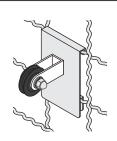


#### ロープの伸ばし方

①→②→③の順番でロープを調節金具に通し、ロープを伸ばしてください。

### ネット滑車の使用方法





左図のように、側面金網の任意の場所にかけて使用してください。 必ず上下 2 カ所がかかっている事を確認してください。